



薩摩川内市立隈之城小学校
令和6年11月29日(児童数718人)

【校訓】

考える 仲よく がんばる

隈小ブローグ



〒895-0041 薩摩川内市隈之城町1392番地1 Tel:0996-23-2604 Fax:0996-22-0581
<http://www.edu.satsumasendai.jp/kumanojo-e/>

子育てとは

校長 久木田 剛

ニュースを見ていると、子供とうまく関わる事ができず、事件や虐待へと発展してしまうケースをよく目にします。どうにかできなかったのだろうか。また、周りは気がつかなかったのか、何かできなかったのだろうか。後からではどうしようもありませんが、つい、そのように感じ、考えてしまいます。

明るく優しい子供の保護者に「どういう育て方をすれば、あんなふうに育ったのですか。」と問うと、意外な答えが返ってきます。「家では、そうでもないですよ。実は…」と、悩みを打ち明けられることがたびたびあります。どんな家庭でも、大小にかかわらず子育てには悩みがつきものようです。「どうしてうちの子は…」と思いがちですが、どこの親も子育てで悩まない親はいないのです。「子供は言われたように育つのではなく、見たように育つ」と言われます。子供の姿は、親の姿の裏返しという意味でしょう。親の姿を見ながら育ってきているかと思うと、子供の親として私自身、ひやっとした心地になります。なるべくなら子供が自然と真似したくなるふるまいのできる親、大人になりたいものです。親が意識して接し方や声のかけ方を変えるなら、子供の姿も今以上に望ましい姿へと変わっていくと考えます。

校内巡回のとき、低学年の教室で、なかなか静かにならない子供たちへ、担任の先生が「〇〇さんは、素晴らしいね。姿勢をよくして、先生の方を見て、次の準備ができていよ」と言うと、他の子供たちも一斉にピンとした姿勢になりました。できていないことを叱るより、できていることをほめることで、周りも気づいて自ら正そうとします。これは、低学年だからというわけではありません。中学生を対象としたある調査で、「ほめられるとやる気が出る」という質問に「はい」と解答した中学生が8割を超えていました。いくつであっても、ほめられ、認められると、嬉しく、前向きな行動につながるのだと思います。言うことを聞かないとイライラしてしまいがちですが、声のかけ方ひとつで、変化につながるものです。「〇〇してはダメ」ではなく「〇〇してくれるとうれしいなあ」、「どうして〇〇しないの」でなく「〇〇に気を付けると、もっといいかもね」など、子供のやる気の出るプラスイメージの声をかけを試してみてもいいでしょう。

子育ては一人で背負わず、気負わず、家族だけでなく、近所や地域の方々の手助けももらいながらできるといえると思います。毎日子供と過ごす期間は意外とあっという間です。子育てを楽しんでください。

お願い

この度、隈之城小学校金管バンドが、12月22日(日)に大阪府で開催される、第71回こども音楽コンクール西日本優秀校発表音楽会に出場することが決定しました。九州管内からは、隈之城小学校1校だけが選ばれたということもあり、子どもたちも張り切っております。最高のパフォーマンスを披露できるように頑張っておりまますので、どうか皆様方のご支援とご厚情をいただきますよう宜しくお願いいたします。



12月～1月の主な行事予定

- 1日(日) イルミネーション点灯式(17:30～)
- 5日(木) 持久走大会 [8:30～10:10/中学年]
[10:20～12:00/低学年]
[14:00～15:45/高学年]
- 9日(月) 学期末事務旬間のため5時間授業(～20日)
- 10日(火) 食の指導[6年]
- 11日(水) 高齢者とのふれあい活動[1年]
- 14日(土) 土曜授業日 PTA門松作り(8:30～)
150周年ギフト・元気塾[リズムハート][5年]
- 24日(火) 2学期終業式 大掃除 学級活動
※給食を食べてから下校します
- 25日(水)～1月7日(火) 冬季休業日

令和7年1月

- 1日(火) 元日
- 8日(水) 3学期始業式 ※この日は給食はありません
- 11日(土) 土曜授業日
『21世紀を担う青少年を育む集い』
- 13日(月) 国民の祝日『成人の日』

おすすめの本、紹介します！

今年度、本校では「読書指導」をテーマとした県の研究協力校として、「本好きの子どもを育てる」取組を様々な方法で推進しています。

その取組の一つとして、以前学校だよりでも紹介した『ビブリオバトル』の大会が、6年生の学級で行われました。

これは、自分の推薦する本を1人5分間でプレゼンテーションをして、「どの本が一番読みたくなったか？」を基準として投票するコミュニケーションゲームです。

教室を覗いたその日は、ちょうどビブリオバトルの決勝の日で、勝ち進んだ4人はお気に入りの場面を引用して紹介したり、自分の思い入れを熱く語ったりしながら、『推し本』のアピールに真剣そのものでした。投票する子どもたちも、その思いを受けてそれぞれのプレゼンに聴き入っていて、白熱した時間となりました。

本に親しむことで、多くの知識を得たり視野を広げたりするのはもちろん、人とのつながりも深めることができます。豊かな人間性を育む観点からも、ご家庭でもぜひ読書活動の推進にご協力ください。



歌のバリアフリーコンサート

11月19日に、ハッピーブリンデンの皆さんをお招きして、『歌のバリアフリーコンサート』を開催しました。ハッピーブリンデンは、歌を「手話」「テンポ」「歌の気持ち」の3つの要素に分けて表現することで、耳が不自由な方もそうでない方も、一緒に音楽を楽しむことができるというコンセプトで、県内外で広く活動されているグループです。歌に合わせて、歌詞に込められた想いや意味を手話で、その曲のテンポを一定の動きで表現、歌から感じ取れる気持ちをパフォーマンスで表してくださるので、子どもたちも一緒になって体を動かしながら、楽しく聴くことができました。また、コンサートで歌われるのは全てオリジナルの曲で、この日が誕生日の子どもたちを、「きみの誕生日」という歌でみんなでお祝いするというサプライズ企画もありました。あっという間の1時間でしたが、楽しい音楽を聴いて心も体もリラックスできたのではないかと思います。



楽しい思い出がいっぱいできました！！

11月13日～14日に、1泊2日の日程で6年生が修学旅行に行ってきました。前日までは空模様が心配されたところでしたが、修学旅行当日は抜けるような青空の下で楽しく過ごすことができました。

1日目は、まず水俣病資料館で公害の実態と、被害を受けた方々のご苦勞を知り、これから自分たちにできることを深く考えさせられました。お昼からは、昼食をとった後に熊本城の見学をしました。その当時の技術の粋を集めた絢爛豪華なつくりは、子どもたちも目を輝かせながら興味深く見ていました。

ホテルに着いてからは、友だちとなかよく談笑しながら食事をしたり、部屋の中でいろいろな話題で盛り上がり、楽しい夜を過ごすことができたのではないのでしょうか！?

2日目は、グリーンランドで思う存分遊んできました。子どもたちは時間いっぱい、ジェットコースターやお化け屋敷と楽しんでいました。また、お土産を真剣に選ぶ姿に、家族を思う気持ちが感じられる場面も見られ、どの子の顔にも満足な表情が溢れていた修学旅行…いい思い出になりました！！

